

刊夕日三月二十



定価 一部多額 一月五元 郵費別
廣告料 五號十二字 一行 金五拾銭
口 報 祭 日 の 翌 日 休 刊
代 行 所 常 警 日 新 報 社
代 行 所 常 警 日 新 報 社
代 行 所 常 警 日 新 報 社
代 行 所 常 警 日 新 報 社

救護法に就て

平町共済會委員 門傳清吾

第五章 救護費
本章に於ては本法に依る救護費用の負擔に關する事項を規定してある一般人として知らねばならぬ点は極めて僅少であるが順序として條文を配列して簡単に説明する

第十八條 救護を受くる者同一市町村に一年以上引續き居住するものなるときは救護に要する費用は其居住地の市町村の負擔とす
則ち被救護者にして居住地が確定して引續き一年以上居住する者に對する救護費は其居住地の市町村の負擔であるとするから一年以下の居住者に對する救護費は市町村に於て負擔せぬことになる、然し被救護者が一年以内の居住であつても市町村に於て負擔せなければならぬ場合がある、それは第十九條の場合である即ち

護に要する費用は其の居住地の市町村の負擔とす
一、夫婦の一方居住一年以上なるときは同居の他の一方
二、父母其の他の直系尊屬居住一年以上なるときは同居の子其の他の直系尊屬
三、子其の他の直系尊屬居住一年以上なるときは同居の父母其の他の直系尊屬
とありて別段説明を要せないと思ふから説明を省略するが一言を要すると思ふのは同條第一號の場合では被救護者が同居の夫なれば其の妻が一年以上居住すれば足り反對に被救護者が同居の妻なれば其の夫が一年以上居住してあれば足るのである同條第二號の場合なれば被救護者が同居の子其の他の直系尊屬即ち孫其の子其の孫の如しであれば其の者の父母又は其の他の直系尊屬即ち祖父母の如しが一年以上居住すれば足る又同條第三號の場合なれば第二號の反對の

場合で被救護者が同居の父母其の他の直系尊屬なれば其の子又は他の直系尊屬が一年以上居住すれば足るのであることを附言する
第二十條 前二條に規定する期間の計算に付ては勅令の定むる所に依る
とありて第十八條及第十九條の居住一年以上か否かの計算に付ては勅令で定めることになつて即ち被救護者が救護を要する状態になつた時を標準とするか又は救護すべきものと認められた時を標準とするか又は其の他の時を標準とするかの問題である多分第一の場合が第二の場合を標準とすることと思ふ判明次第後日説明する



涯ない夜

大竹 秋平

夜の闇と静寂のうちに景色は徐ろに消えて行くそれとともに
畫の幻も消えて行くそは？光の中を迷ひ歩く人や物の靈だ？私たもの心を糧として群集や喧擾や追

跡や逃亡と、楽しさ美しさや煩惱は悉く消え失せただけだ？
涯ない夜に眠りはおとつれ人や物の靈の上に落ちて來たら
あらゆる望も眠れあらゆる

魚清のなべ類

例年の通り始めました

- 鳥なべ 御一人前 三十五銭
- ちりなべ 三十銭
- よせなべ 三十銭
- ねぎなべ 三十銭
- かきなべ 三十銭
- はもなべ 三十銭
- あんこなべ 三十銭

出前も迅速にいたします

魚清食堂
平町三丁目電話六三三番

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は人の生命なり

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

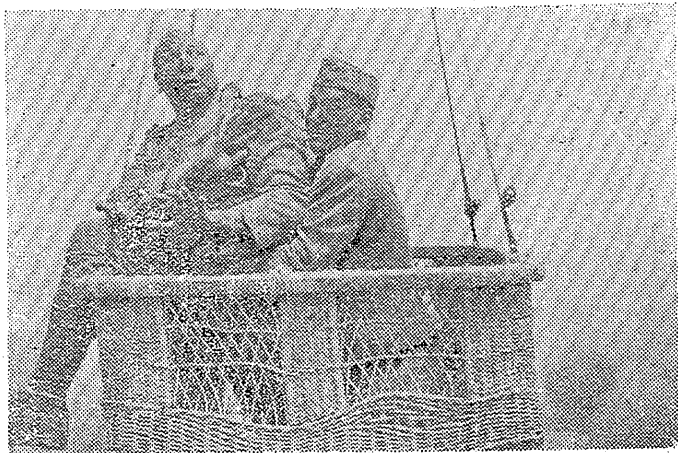
關内藥局

電話四〇番

月一回を誇る超特別大興行
十二月四日より堂々大公開

戰線 藤栗毛 八卷

トム・ウエルズン氏
マイニー・コンクリン氏
バーナード・ローイ嬢
共演



お江戸放浪記 十卷

嵐寛壽郎大熱演

帝キネ會社大作時代劇

次郎長 血闘天龍川 十卷

喧嘩日記 明石緑郎大奮闘劇

御場入 大人二十銭
中等生 十銭
小人 五銭
世界館 有聲座改メ

吉田眼科病院

平糺屋町、電話六八番

路面改修は急務也と

舗装工事實施の請願

けふ各區長連署を以て提出

一は失業者の救済に

既報—失業救済事業とする平町國道舗装工事施設に關し本日關係區長より縣廳に提出した陳情書左記の如くである

平町は逐年交通頻繁を來し殊に自動車の増加に伴ひ一層交通運輸繁瑣を極め候處本町地内を通ずる國道は市街地として幅員狭小且側溝の設なきを以て降雨毎に雨水溜溜し夏季淋雨季の如きは路面泥濘行通難難なるのみならず

自動車の往來毎に泥土飛散して店舖陳列品を汚損する等其の支障不便を感ずる事甚し且大雨の際は宅地内は勿論床下に雨水侵入爲に衛生上亦憂慮に堪へざるもの之有

路面の改造側溝の設置は寔に急務中の急務と在候承はれば御應に於いて失業救済事業として本年福島市及び郡山市に舗装工事を實施明年度内全一工事の御計畫有之趣に付前陳の事情篤と御詮議を給はり本町及長橋町より鎌田町に至る國道と平驛より國道に至る路面に側溝を付して

救済し一は道路の保護と交通の完全を期される様御施設相成度而して是に要する費用の一部は地主に於て應分の寄附可仕候間是非願意相達し候様致度關係區民を代表し此段及陳情候也

- 長橋町區長 川角 兼吉
- 研町 同 木澤 常松
- 紺屋町 同 關内喜久治郎
- 一丁目 同 比佐信太郎
- 二丁目 同 山崎孝之助
- 三丁目 同 海老根淺吉
- 四丁目 同 松本 愛三
- 五丁目 同 酒井 富吉
- 立町 同 佐藤 榮吉
- 鎌田 同 金成 國雅
- 田町 同 平澤勝次郎

石城郡出身 平町各種 身在滿兵 團體募集 慰問金品

三日現在

- 田町區 (拾圓) 平藝妓屋 組合藝妓一同(五圓) 高久 忠 新妻幸之助 井坂久 吉 清水廣政(參圓) 阿部 裁縫女塾生一同(貳圓) 廣 瀨支店(一圓五十錢) 岩澤 裁縫部一同(壹圓) 大橋秀

- 久 鈴木千代吉 鷺チエ
- 清野音吉 大河原ルイ
- 増子富治 木村モン
- 久保ヨシ 猪狩菊三郎
- 比佐三郎 山下三次 漆
- 畑元吉 安齊勝美 市原
- 卯太郎 金子キミ 鈴木
- 健太郎 佐川重喜 根本
- キミ 田中カネ 大野健
- 太郎 三浦富美雄 高橋
- 久 齊藤千代 小齊五
- 郎 白土喜伯 鈴木重助
- 藤田みゑ 鈴木ミエ(五
- 十錢) 神天富五郎 掠木
- 正喜 大塚鳳三郎 篠原
- 松太郎 菅波裕 世界館
- 萩原申八 赤須タケ 赤
- 羽清 實川彌太郎 鈴木
- 萩夫 金子浩二 小谷由
- 二郎 河原トキ 富永一
- 郎 森本茂 酒井清 北
- 村トク 鈴木ミツ子 品
- 澤アツ 川瀬ナツ 板橋
- 清吉 鈴木二郎 水口豊
- 次郎 神谷清助 高木伊
- 勢松 河野ミツエ 吉田
- 九平 遠藤豊治 渡部清
- 美 池内龜吉 石坂詮太
- 郎 大久保貞吉 大坪光
- 夫 須藤鶴之助 佐藤久
- 吾 野木文彌 伊東寅之
- 助 宮川勝雄 岡本良平
- 大河原孝負 狩谷佑一
- 大塚未吉 本重兵衛

- 清宮運送部 石山平一郎
- 齊藤敏實 白石猶藏 小
- 波シモ 竹川クニ 鈴木
- 武雄 古川四郎 三浦フ
- ミ 平撞球場 友部清前
- 磯山松雄 箕輪爲吉 横
- 内アツ 永山勇吉 岩本
- 重雄 眞木隆四郎 平和
- 麻雀クラブ 菊地さん
- 吉田勝衛 渡邊サツ 鳥
- 海菊五郎 會川ハナ 岩
- 瀬重太郎(三十錢) 菅田ハ
- ツ 山名時太郎 根本義
- 一 高部幸市 大崎幸七
- 郎 鈴木寅次郎 熊谷大
- 作 大島與作 太田久藏
- 鎌田久藏 根本卯太郎
- 新妻信八 金子福藏 大
- 沼與之吉 小山田吉治
- 吉成由雄 長岡忠五郎
- 内藏ツル 石川巴 伊藤
- 正吉 松本定造 市井藏
- 三郎 木幡林助 片寄安
- 義 兒王モト 阿部爲之
- 助(貳拾錢) 館内安治 佐
- 分利喜市 佐藤正 佐藤
- 善次郎 加藤正作 佐竹
- 菊雄 小林キイ 平サ一
- ビス 秋山秀男 梅澤石
- 五郎 伊藤林之助 高田
- 久治郎 滑川敏之輔 會
- 川定雄 關内カネ 日暮
- 仲子 松本元治郎 須藤
- 松男 政井要五郎 佐藤
- 甚五郎 伊藤眞一 根本
- 勝二 新妻芳保 布川清
- 吉 鈴木巳之太郎 栗原
- 吉三郎 島田藤吉 小松
- 米作 志賀徳吉 鈴木藤
- 太郎 後藤武信 志賀勝
- 義 宮崎政次郎 赤塚カ
- ネ 野口政次郎 天佑堂
- (拾錢) 高平武右工門 田
- 山和藏治 馬目信之助

- 大山船司 高久病院内鈴
- 木トシ 稻葉フミ子 岡
- 田キミヨ 永山キヨ 長
- 谷川タマ 赤塚アイ子
- 新妻ウメ 岡野ウメ 吉
- 村圓三 阿部菊藏 坂本
- 伊三郎 鈴木萩助 狩谷
- ツヨ 佐々間猛 關川正
- 三郎 佐々木幸之助 太
- 田嘉平 太田十力 高木
- 光次郎 高木キミ 高橋
- フサ 佐々木アキ 遠藤
- チカ 太田勝美 菅野キ
- ヨ 齊藤末吉 猪狩ミチ
- ノ(タオール) 打、便箋五
- 冊) 平澤勝次郎(ハンカ
- チーフ) 打) 室橋正吉
- (手拭一反) 大谷菊次郎
- (石鹼半打) 新妻慎治(ハ
- ンカチーフ) 打) 眞根井
- 嘉門(タオール) 打) 吉田
- 豊(手拭一反) 佐藤榮一
- (取合七十二袋) 酒井温夫
- (手拭一反) 金子直祐(便
- 箋十冊) 磐城通信社(眞
- 綿三十八枚) 寫眞十五枚
- 中島孟(晒一反) 宮川三郎
- (眞綿二十枚) 飯沼林一郎
- (手拭一反) 高野宇之吉
- (手拭三反) 石川トキ(ド
- ロッパ一罐) 石川亭内女
- 中一同(眞綿拾枚) 長谷川
- 直江(手拭三反) 伊東柳治
- (手) 二本) 鈴木禎二(晒
- 一反) 島田勝吉(手拭五
- 反) 古川清吉(タオール
- 三本) 古田部貞一(手拭四
- 反) 齊藤千代(眞綿三十
- 枚) 鈴木ミエ(美人寫眞
- 七十四枚) 熊谷丈作(角
- 砂糖二箱) 山野邊
- 五丁目(拾圓) 諸橋大太
- 郎(參圓) 篠原新吾(壹圓)
- 芳筒屋タンス店(五拾圓)

今日話 福山市霞小學校の一年生大木菊三 (七) 假名は先日來頭が痛い、と いて、へんなことを口走つてゐ たが果ては通行人を捉へて「小父 さんの腰には、膏藥が張つてある ね」とか「越中陣だね」等いひだし、それがまた不 思議に的中する、懐中物や箱の中のものには透視 がさかないが、腰部に限つて着物の上からいひあ つてるので、近所の娘やおかみさん連、氣味悪が つてこの透視小僧に大恐慌、眞逆グロ、時代のせ ゐでもあるまいが

布施千代子 沼田庄藏 (參拾錢) 遠藤撰吉 吉野 屋 入江孝徳 田口辰雄 (貳拾錢) 海老澤商店(拾 錢) 北村ハチ(手拭四反) 馬目武之助(同二反) 星野 清吉(同二反) 大竹久太郎 (同二反) 馬目良之助(同 二反) 石川幸多郎(仁丹 拾個廿錢袋) 山野邊東次 郎) キヤラメル五十個) 泉 屋

天皇陛下の爲め 働いて下さいと 童心の美しい現れ 石城郡小名濱小學校尋常二 年生佐藤利彦君は今回の滿 洲事變に際し豫て蓄めて居 た二圓三十八錢に左の如き 手紙を添へ町役場へ慰問寄 託したと

「私は今度の滿洲の戦争 に寒さといはず御國の 爲に盡して居られる兵隊 さんは大變氣の毒です が私も子供ですから兵隊 には行かれませんが本 當に少しですが毎日蓄め たお金を差上りますから天 皇陛下のためにまた御國 のために働いて下さい」

古河寄附募集 石城 郡好問村古河礦炭では各社 員従業員間は寄附募集に就 いて協賛中であると

十四區出身兵の 武運長久を祈願 平町十四區(久保町、七軒 町)にては昨日鎮守稻荷神 社にて在滿兵の武運長久を 祈願し同區出身在滿兵大竹 榮一君の許に神符及び慰問 品に激勵狀を添えて贈つた と

箕輪村義捐金 石城 郡箕輪村在郷軍人分會では 卅日午後六時より同村小學 校に參集役員會を開いた結 果同村出身在滿兵十九名に 對し五圓の慰問金を送付す る事に決定した

往來 町議高橋龜松、綠川喜三 郎兩氏本日八時四十五分 列車にて湯本へ

平町人事 結婚 回 旭

△四白川郡白川町道場小路 門前清 (二五)氏 平町村木町一六吉野キ ヌ(二八)

貨物自動車が曲角で

幼児二名を轢き倒す

二名は重傷人事不省に
午後一時の出来事

本日午後一時頃石城郡豊間村遠藤之丞方自動車運轉手大河原重次(三)は水一頓を貨物自動車に積載し平町より豊間村に向つて運轉中同村薄磯地内に差掛つて急カーブした際路上に遊んで居た同村高木芳松の孫芳廣(四)遠藤龜吉長男弘芳(五)芳賀新之助孫壽(六)を轢倒し炎傷は顔部を粉砕弘は腦震盪を起し兩名共に人事不省に陥り壽も身体數ヶ所に負傷した

答があつたので更に嚴重取調べた結果昨年春ころから宮城、福島、茨城、栃木の縣下殊に茨城縣下におけるウキンドー焼き切りを始め一縣で三十件平均の窃盜を働いた旨自白したので引續き取調べると共に各地に照會してゐる

胡摩澤青年團員が

毎日道路改修に出動

平町最初の道路愛護會

平町胡摩澤にては道路愛護會を組織し毎月一回青年分會員總出を以て道路の修繕に努むる事になつたが會長は同分團長鈴木政雄君、顧問は區長赤坂勇吉君である因に平町内に於て右愛護會の設立を見たのは同町が一番最初で土木監督所も非常な肝煎りである

平町胡摩澤にては道路愛護會を組織し毎月一回青年分會員總出を以て道路の修繕に努むる事になつたが會長は同分團長鈴木政雄君、顧問は區長赤坂勇吉君である因に平町内に於て右愛護會の設立を見たのは同町が一番最初で土木監督所も非常な肝煎りである

指紋から

大賊と判る

過般平署に窃盜現行犯として檢擧された茨城縣生れ川元千代松(三)に對して平署では警視廳に指紋照會をなしたところ同人は大窃盜の前科二犯を有してゐる旨回

身代金横領

もぐり桂庵

石城郡内郷村大字宮峯根伊藤留作(五)は生活が苦しい處から先月三日長女トヨ(九)を近所の齊藤吉五郎(三)に依頼し酌婦として同村高坂の飲食店三浦ヤイ方に前借百圓にてすみ込ましめたが齊藤は手金を横領したので平署に告訴されたが齊藤はもぐり桂庵であると

極秘裡に連判状

國庫が支拂へとして

石城郡各町村小學校教員は町村財政の逼迫から給料支拂に安定を缺き勝ちなので議會開會中に貴衆兩院に俸給金額の國庫負擔實現運動を計劃し陳情書を提出する

長福寺入佛式 石城郡下小川村字上野臺長福寺

を舉行し午後六時からは余興として同寺廣場にて活動寫眞を上映すると

軍事講演會

石城郡磐崎村青年團では一日午後六時より同村藤原第二小學校に於いて白石玄海氏の軍事講演會を行つたが尙赤井在郷軍人分會でも本日午後一時より同村第二小學校に同講師を招き講演會を開催すると

入山礦慰安會

湯本町入山炭礦ではさる一日午前九時から同社自治館、劇場に金山従業員家族三千餘名の慰安會を催し種々の餘興によつて盛況裡に終日を樂しんだ

線路を歩るく

ツンポ爺さん

去月廿七日午後四時頃上野驛午前十一時十五分發仙臺行列車が石城郡内郷村高坂地内へ差懸つた際線路上を平方面へ向つて歩いて居た平町鎌田町三五池田信義(六)を機關手が認め再三危険笛を鳴らしたが避けんとせず機關車は同人より十米先地點に急停車をし難を避けたが此の爲約三分延したので平驛長より告發された

田地を種に

詐欺を働く

石城郡赤井村字西小川鈴木廣重(四)は本年三月頃同村若松勤(三)に自分所有の田地二段五畝を七百五十圓の契約で譲渡し其内手付金として五百圓を受取つたが譲渡された若松は其後右の田地登記を差出した處右田地は既に鈴木から湯本町の加藤某に抵當田地として記載

明日のラジオ

今晚の部
後六、〇〇(子供の時間) 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ
後六、三〇 英語講座「中等科」上井磯吉
後七、三〇「時事講演」 後九、〇〇「連續講談」幡隨院長兵衛「第三席」神田伯山

明日の部
後九、四〇「時報」全國ユース 氣象通報
前九、一〇「料理献立」雛鳥梅煮小燕ふくめ「中村康子」
前一〇、三〇「婦人講座」「滿洲のみやげ話」(二)平山盧江
後一〇、〇五「獨唱と管絃樂」

明日のラジオ

今晚も明日も北西風の風晴

獨唱市川元 東京ラヂオオーケストラ
後二、〇〇「家庭大學講座」常識の映畫(第十講)森岩雄
後六、〇〇(子供の時間) お話「犬」永野五郎
後六、三〇「英語講座」初等科「寺西武夫」
後七、三〇「趣味講演」法印神樂の話「本田安次」
後八、〇〇「ラヂオドラマ」
「明日から」東京放送劇團
後八、四〇「三曲」まよの川「青森根市きよ外」
後九、〇〇「連續講談」幡隨院長兵衛「第四席」神田伯山

戸敷割の

滞納整理

平町役場に於ける前期分戸敷割滞納額は一万九千九百圓に達して居るので各吏員は此督促に馬力を掛けて居る

十八娘が家出

何者か誘拐か

平町材木町水山ノブ(八)は去る一日突然無断で行衛を晦したので家人は何者か誘拐されたのではなからうかと本日平署へ捜査の願を出した

素人

下宿にお灸

最近市内に素人下宿がばつこし下宿人三、四人も置きその下宿料にて生活してゐるのが多く下宿業者より「吾々の商賣を妨害す」とてなんとか取締るやう平署に願ひ出たが爲め近く同署

下宿は見逃す

縁故者一人位のにて一齊素人下宿調査を行ふが近親の者とか或は縁故の者一人位下宿させるのはかまはないが下宿屋の看板なく三、四人も下宿させをれにて生活してゐるやうなものは嚴罰に處す事になつ

- ### 求職の部
- △農夫 五十才以下、日給九十錢(田町商店)
 - △農夫 四十才以下、住込月十圓(飯野村)
 - △求職の部
 - △農夫 卅二才、尋卒(安積郡)
 - △給仕 十七才、高卒(仲間町)
 - △商店雜役 廿三才、尋卒(新潟縣)
 - △小使 廿一才、高卒(内郷村)
 - △店員 廿三才、高卒(宮城縣)
- ### 動八等の男
- 石城郡夜中に侵入 四倉町元町邊職新妻長吉(九)は去月廿五日午後十二時頃やもめ暮しをして居る同町松本カツ(三)方に忍入騒ぎ立てられ四倉署に於て家宅侵入罪として取調中の處本日書類と共に檢事局に送られたが同人は日露戦争の勇士で動八等を持つて居ると
- ### 平職業紹介所便り
- △求人部
 - △農夫 五十才以下、日給九十錢(田町商店)
 - △農夫 四十才以下、住込月十圓(飯野村)

小説 七匹狼

(百)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

「一體どうしたちう譯です
よんへの内に聞きたかつ
たけれど、いかく弱つて
ござる様子だし、今にもヒ
キツケさうに差込んで来る
鹽梅が、癪のように見える
でな、話よりも介抱の方が
先に立つて、よくお尋ねす
る事も出来なかつたが、誰
かお前様を追駈けて来て、
取つつかまえて蒐つた者で
もあつたのかね」

「え、然うなんですよ、
悪い奴に取つ掴まれかけた
もんですから一生懸命無我
無中で飛び込んで、お助け
を願つたような譯なんです
よ」

「然うだつべいなア、あの
時分トマの隙から河岸の方
を覗いて見たら五六人連れ
でそつちへ行つたり此方へ
来たり、わい／＼言つて何
にか捜して居る様な様子だ
つたが、よくまア發見せら
れんでよかつたものなア」

に立つて居るのが一際輪廓
の大きい外國人らしかつた、
それが其の合圖か口笛をヒ
ューと吹いた。
はッと思つた自分は急て
彼の人を突き除けて踏みき
立つた、彼人は慌て、傍
にある俵の握棒に取り縋つ



た、自分は後からぐんぐん
押してやつた車夫は隙さず
握を上げて駈け出した。
彼の人の軀はろくに俵の
内に落ちつかなかつたであ
らう、蹴込の内へ足が一本
だらんと下つて居た俵はそ
れなりに疾足して居る自分
は砂漠を駈ける駄鳥のやう

分の口は石のやうに硬ばつ
て返事をする事が出来なかつた。
「色々ね、事情があるんで
すよ、内儀さん私こんな恐
ろしい思いをしたのは隣の
尾切つて初めてですの、こ
の横濱と云ふ處は世界中の
いろんな人が集つまつて居
る港場だけに随分物騒な、
まだ警察やなんか氣の付
かない秘密の事がざらにあ
るてえごとは、よく聞いて
いましたけれどもまさかこ
んなだとは思ひませんでし
たわ、ほんとうに活動寫眞
にでも有りそうな不思議な
事に出會したんですのよ」

「ホオどんな事かね、外國
人にでもどうかされたのか
ねあ、分つた、お前さん洋
妾だね」
「あら、人聞きの悪いこと
を云つて下さんなよ、内儀
さん私お恥かしいけれども
實は新橋の藝者ですのよ」
「おや藝者さかん道理でね
え」

愈々23年近もまじたま。
新年はがきは
名刺の御用を
常警日印刷株式會社

カクテル
17キヒテア352
レストラン
井の三

井の三
の
商品切手
番 八四
電 三二
平三

安賣
舶來生地メニスカス近眼玉
一組 一圓拾錢
優等品白生地栗山近眼玉
一組 六十錢
新メニ玉スド一シ
白イロイロ 各一組 四十錢
イロメガネ
五令番と廿五番セル卷淵
三十五錢ヨリ
クロム製淵 三十錢
理想のメガネ正十八金セル卷
玉入 八圓四十錢
大形絹天張眼鏡入サツク
十二錢

精幸堂時計店
才小橋路キ子自動車店向

貸切の●●●
御用命は?
獅子吼(四四九)ノ勢デ
マツサキ
眞先ニ……………(マツサキ)
三九ニタクシーへ!!!

内科
一般
醫學博士 難波 睦
平町新川端(釜屋新宅向)
電話五〇二二番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

増田醫院
平町南町一
電話四八三番

美味し。て。く。の。價。の。安。い
食物は……
これからの
鳥小焼
電話二八六番
南町 鳥商 鳥菊